

わたしたちに与えられた憐れみの道

コロサイ 3 : 12 - 17



司祭 ヨハネ 井田 泉

2022年7月31日
聖霊降臨後第8主日
京都聖三一教会にて

今日の旧約聖書、使徒書、福音書を三つ心にとめてみたとき、人間の歩みうる三つの道が示されているように思います。

第一は「すべては空しい」とつぶやきつつ歩む道です。

「わたしは太陽の下^{もと}に起こることをすべて見極めたが、見よ、どれもみな空しく、風を追うようなことであった。」

コヘレトの言葉 1:14

ここには人生についてのなごしかの真実があります。けれども「どれもみな空しい」というつぶやきで人生を過ごすのはもったいない。生きることには意味がある、という道を見出したいと思います。

第二の道は、今日の福音書の中に出てきた金持ちのあり方です。畑が豊作で、作物をしまっておく場所がない。そこでこう言います。

「こうしよう。倉を壊して、もっと大きいのを建て、そこに穀物や財産をみなしまい、こう自分に言ってやるのだ。『さあ、これから先何年も生きて行くだけの蓄えができたぞ。ひと休みして、食べたり飲んだりして楽しめ』」ルカ 12:18-19

彼は貪欲です。豊かなものを貧しい人と分かち合おうという気はまったくありません。彼に対して神はこう言われます。

「愚かな者よ、今夜、お前の命は取り上げられる。お前が用意した物は、いったいだれのものになるのか」ルカ 12:20

この二つの道。一方の空しさのつぶやきの道と、もう一方の食欲の道の間、その真ん中に第三の道があります。それこそがわたしたちに与えられた道、キリスト者の道です。それが今日の使徒書・コロサイの信徒への手紙に語られていました。

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。」コロサイ 3:12

神の憐れみを受けて、わたしたちも憐れみの心を持って生きて行く。これがわたしたちの道です。

ここで、そのわたしたちはどういう者と言われているかを確かめましょう。

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されている」者だということです。

わたしたちは「**神に選ばれ**」た。これは不思議なことです。わたしたちが特に立派だとか正しい者だったとかいうことはありません。気がついてみたら、わたしたちは神さまに招かれて、イエス・キリストを信じる者とされていた。わたしたちはどこかに打ち捨てられ忘れられた者ではありません。神さまによって見出され、選ばれ、引き寄せられた——それがわたしたちです。

またわたしたちは「**聖なる者とされ**」た、と言われています。自分を見つめてみて自分が聖なる者、清い者になったとはとて

も言えません。けれども大事にしたいことは、わたしたちは「聖なる神に属する者とされた」ということです。わたしたちは、たびたび内と外の悪に苦しめられ圧倒されるけれども、しかし神さまの保護と監督もとの下にあるのです。

さらにわたしたちは「神に愛されている」者です。わたしたちはしばしば忘れていきます。けれども神さまはわたしたちを忘れてはおられない。昨日も神に愛され、今日もこの瞬間もわたしたちは神に愛され、明日も将来もずっと愛される。神に愛されているのがわたしたちです。

今、わたしたちがどういう者であるかを聞きました。

「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されている」。

そうであれば、わたしたちの前に道が開かれています。あの際限のない空しさからも、また貪欲からも解放されて、わたしたちが進むべき真ん中の道が用意されています。コロサイ書の続きにこう言われていました。

「(あなたがたは) 憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。」 3:12

わたしたちは神に愛され、神の憐れみを受けているので、自分も人に対して憐れみの心を持って生きて行く。

神の憐れみは深く激しいものです。昔、ホセアという預言者

がいました。社会の悪と人々の神への背きに苦しみ、彼自身の家庭にも深い悩みがありました。そうしたなかで彼は神の憐れみを知ります。神がこう言われるのを聞いたのです。

「わたしは激しく心を動かされ、憐れみに胸を焼かれる。」

ホセア 11:8

神が、ご自分の胸が焼かれると言われるほどに、神の憐れみが燃え上がって人に注がれる。この憐れみをわたしたちのところに持って来てくださったのがイエス・キリストです。その憐れみの一端にでも触れれば、わたしたちも人に対して冷たいままではおれず、憐れみの心を持つでしょう。

「憐れみの心を身に着けなさい。」 そのようにしましょう。

この道を歩んで、わたしたちはやがて神の御前^{みまえ}に至ります。

わたしたちはこの道——憐れみを受け、憐れみの心を持って歩む道をたどるあいだ、逆風に悩むかもしれません。

かつて弟子たちは向こう岸に渡ろうとして、逆風と波に悩まされました。疲れ果てたとき、イエスが近づいてきて言われました。

「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」 マタイ 14:27

「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」

この言葉をもってイエスはわたしたちを励ましてくださいます。

祈ります。

主よ、あなたがわたしたちに注いでくださる憐れみを教えてください。わたしたちもまたこの人生の道をたどるとき、人に対して憐れみの心を持って生きることができますように。

「安心しなさい。わたした。恐れることはない」とわたしたちにも呼びかけてください。アーメン